

新年号企画：7部会長座談会

テーマ 『今、業界が望むこと』

日々めまぐるしく変化している経済環境に対応することが企業力を高める一つだと思います。そこで『今、業界が望むこと』とは何かを、当所7部会(商業・工業・建設業・金融財務業・観光環衛業・交通運輸業・文化産業)の代表者に登場していただきました。

(この座談会は11月27日に開催しました。)

◇座談会出席者

- 商業部会 佐藤洋一郎氏
- 工業部会 宮本洋治氏
- 建設業部会 松山恒男氏
- 金融財務業部会 岡崎信一氏
- 観光環衛業部会 佐藤泰博氏
- 交通運輸業部会 峯島健寿氏
- 文化産業部会 小沼淳志氏

◇司会

- 情報化委員会 委員長 前島 康氏
- 情報化委員会 副委員長 梅原 郁夫氏



情報化委員会 前島 康 委員長
有限会社カメプ呉服店 代表取締役

司会 前島 康委員長

平成30年新春の7部会長座談会のテーマは『今、業界が望むこと』です。テーマに沿って各業界の抱える問題点を出していただき、さらにこれから目指したい事と業界で進むべき方向性についても話していただきます。有意義な懇談の場にしたいと思っております。宜しくお願いいたします。

商業部会 佐藤洋一郎氏
インターネット販売でのお買い物がどんどん増加しています。それに反比例して僕ら

のような店への来客が減っています。商店側はお客様の来店への動機づけとして、来店でしか得られない何かや、体験などの工夫が重要になってきています。

それで困っているのが、全国的なインターネット販売の増加で宅配業者が猛烈に忙しくなり、運賃が値上げされたことです。さらに消費税増税も予定されており、消費不振がおきるのではないかと心配です。



工業部会 宮本 洋治氏
久慈鉄工協同組合 代表理事

工業部会 宮本洋治氏

工業部会でこれから望むことは、各社で違いがあります。共通しているのは受注を増やすこと。東京ビッグサイト等で行われる展示会や、東京商工会議所等で行われる商談会にも積極的に参加して良い取引先を増やすことです。

さらに、生産技術の向上と人材育成を進めていくことで、どんな受注にも対応できる力が備わるはずですよ。

建設業部会 松山恒男氏
建設業部会では研修として

昨年、群馬県のハツ場ダム建設現場での新工法の見学を行いました。

望むことは、若い人に業界へ就職してもらうことです。そのためには先ず賃金アップ、天候に左右される業界での週休2日制の導入、定年65歳への引き上げを進めるとともに、全ての労働者に社会保険加入を奨めることです。さらに建設・土木の現場で女性が働くことも期待しています。

勿論そのための環境を整える必要はありますし、オリンピックの競技場建設現場等の見学も考えております。今後も我々の仕事は、地図に残る夢のある仕事なのだとPRしていく必要があります。

また、我々の業界は、県や市と災害時の協定を結んでいたり、路面凍結や積雪時の早朝作業に協力しております。

また、我々の業界は、県や市と災害時の協定を結んでいたり、路面凍結や積雪時の早朝作業に協力しております。

少々危険もありますが、地域の皆様に貢献する仕事であることを、ご理解いただければと思います。



金融財務業部会 岡崎 信一氏
株式会社常陽銀行日立支店執行役員支店長

金融財務業部会 岡崎 信一氏
金融財務業部会が望むことは、産業界が求める金融サービスに我々が的確に応えお手伝いしていくことです。昨年の活動として事業承継と資産運用の2つのセミナーを実施してきました。産業界では、少子高齢化の中での事業承継は重要問題です。5年後10年後を見据え、その対策

を打つという主旨で勉強会をさせていただきました。また、老後の問題として低金利時代の資産運用セミナーも実施しました。

金融業は様々な企業様とお付き合いをとおして、お客様とお客様を結びつけるビジネスマッチングを行っております。各産業の皆様にもそういった機会を商売に活かしていただきたいと思っております。

それでも、人口が減ってしまつと商売のネタは少なくなります。空き家対策として不動産業者や建設業者、リフォーム業者などが協力して日立市の良い物件を紹介し、我々金融業も住宅ローン・リフォームローンを紹介し協力しています。各業界の皆さんと住み良い魅力ある街づくりをしていきたいと思っております。



観光環衛業部会 佐藤 泰博氏
ブルーバード学園理事長

観光環衛業部会 佐藤 泰博氏
観光環衛業部会は、警察、東京ガス、保健所、金融公庫等の方々を順次お招きし、毎月会合を行っております。懇親を図りながら街の活性化について話し合いをする楽しい集りです。

昨年9月には、4年ぶりにドリンクラリーを復活させ開催しました。大成功で1000人もお客様が参加し、アンケートではまた開催してほしいという声が多数ありました。ただ、開催に当たっては

いろいろ苦労が多く、4年前に9回目で一旦途切れた経緯があります。昨今の人口減少や皆さんの財布の紐が固いなど、問題がありますが、我々業界が頑張らなくてはと思っています。



交通運輸業部会 峯島 健寿氏
株式会社日立物流東日本 総務部長

営は成り立たないことをご理解願いたいと思います。業界としても、国へトラックと高速バス業界が割高になった高速料金のETC割引率拡大の要望を出しております。また、大型車の排ガス規制が特に東京都を中心に厳しいので、企業の環境対策の投資に国の補助をお願いしていますが、一向に進まない状況です。

交通運輸業部会 峯島 健寿氏
先ほど話があった輸送運賃値上げのことですが、昭和60年に法的強制力がない基準運賃を当時の運輸省が定めました。現在の運賃はその65%という安さだったわけです。現状では値上げなしでの企業経





文化産業部会 小沼 淳志 氏
株式会社ジュン・ホーム 取締役会長

文化産業部会 小沼 淳志 氏

文化産業部会が望むこと

は、人口を減らさないということ。2065年には労働人口が3千9百万人まで減ると言われています。日本インフラ維持のため税金負担額が増え、国は衰退します。

現在世界第3位のGDPを維持するためにも、外国人の受け入れを増やしてもらいたいと考えています。今、国内の外国人は留学生を入れても総人口の1.8%で230万人です。もしフランス並の6%まで引き上げられれば780万

人になり、国力が維持できません。運輸業や建設業では慢性的な人手不足ですが、不動産でも土地余り現象がおきて困っています。商工会議所だけではどうにもできないことですが、何としても人口減少を食い止めたかと思っています。

司会 前島 康委員長

皆さんの意見から共通のキーワードが見えてきました。次はそれらの課題について話し合っていきたいと思えます。良い機会なので他のこの部会なら「こんな手助けができる」とか、「こういう意見もあります」とか、ざつくばらんなご意見をお願いします。



文化産業部会 小沼 淳志 氏

廃校で使われない校舎を外国人用の養成学校にしたら良いかと思っています。ただ、日本は縦割り行政なのでなかなかできないですね。



情報化委員会 梅原 郁夫 副委員長
梅原材木店 代表

司会 梅原 郁夫 副委員長

日立市にそういう学校の拠点を作り、そこで外国人が日本語や風習をしつかり勉強してもらってから、働けるというシステム作りができれば良いですね。でも、空き家は建築基準法があつて住居は住居としてし

か使えない。用途変更は縦割り行政で難しいところがあります。縦から横を広げる対策として、商工会議所の部会も行政との繋がりは別々ですが、各部会が横で繋がる事で、

行政を引っ張り込むこともできると思います。

工業部会 宮本 洋治 氏

人口を増やすには2つあつて、若い人が増えるための環境づくりと、雇用が増えることです。市が工業団地を造成し企業誘致すれば雇用は増えます。

常陸太田市は子育てしやすい街とPR発信して人口が増えていくそうですが、日立市でも同じような支援はあると思います。だったら日立市は日本一子育てしやすい街だと言ってしまう良いんです。まずPRすれば、後は何とで

もなります。子育て支援に費用がたくさんかかるとは思えません。国外から人を呼ぶのは最終手段だと思います。

観光環衛業部会 佐藤 泰博 氏

あとは、日立市にお客さんを呼ばなくてはいけないですね。ホテル テラス ザ スクエア日立ではタクシーを使って宿泊客を乗り合わせて人気の御岩神社へ連れて行く方法をとっているようです。そういった企画を皆で考えて作っていくかと思っています。

また、先日のテレビを見ていて腑に落ちなかったのは、テレビ東京の地域紹介番組『アド街ック天国』で、北茨城市と高萩市を取り上げたようですが、何故か日立市だけは取り上げてないんですね。テレビの力つてデカイと思う

んです。市と会議所で何とか頑張れば、テレビも呼べると思います。

交通運輸業部会 峯島 健寿氏

実は部会の視察研修で川越市に行ってきました。20年前の川越市は観光客が少なかつたのに、今は平日でもすごい人です。では、どうしてそうなったかですが、古い民家を改装して小さなカフェなんかにしてるのです。それが公共の電波で宣伝され、その効果が現在に繋がっているようです。残念ですが、日立市は少し宣伝が足りてないと思います。

司会 梅原 郁夫 副委員長

「日立カルタ」って皆さんご存知ですよ。その内容に沿ったお菓子を創るとか、カルタに載った名所には記念碑を

設置するとか、切り口はたくさんあると思います。

桜川市真壁町では、行政と住民が手を合わせ古い街並を活かしました。ちょっとしたことの積み重ねで人を呼ぶ力になるのだなと思つています。



建設業部会 松山 恒男氏
多賀土木株式会社 代表取締役会長

建設業部会 松山 恒男氏

池の川さくらアリーナで開催された産業祭で、シャトルバスをたくさんのお客さんが利用していました。シャトルバスが大変役立つことは、活きたサービスができたと思

つています。



商業部会 佐藤 洋一郎氏
株式会社みどり園 代表取締役

商業部会 佐藤 洋一郎氏

日立商工会議所では、部会を横断した事業を推進していきます。折角ですから、産業祭に限らずその他のイベントも部会のコラボレーションでやるのも良いと思います。

観光環衛業部会

観光環衛業部会でやっているドリンクラリーなんかもあるですね。他の部会との共同もできると思っています。例えば我々商業者からは「こうすれば楽になるのでは？」という意見もあるのです。

また、産業祭はお買い物メインのイベントなのに、荷物を持って歩く方が少ないようでした。それは駐車場まで遠いため、もしそこまでの運搬に何か手立てがあれば買物が楽になると思います。

失礼ですが峯島さん、何か提案とかありませんか？(笑)。つまり、そういうことができ

てこそその共同体制なわけで、それを会議所で検討していくことで地域貢献ができると思います。

観光環衛業部会 佐藤 泰博氏

観光環衛業部会

観光環衛業部会では今年もドリンクラリー開催の方向で進めており、お客さんを倍に増やしたいと思っています。今回は日立地区でしたが、次回は多賀地区で、その次は大みか地区で開催ができればと考えております。夜の日立に

活気を戻したいので、是非その時は部会の垣根を越えた皆さんのご協力を宜しくお願いいたします。

司会 前島 康委員長

いろいろな話ができました。縦割り行政も商工会議所で部会の垣根を越えて話し合えば、横の関係もすんなり行くのかも知れません。身近な課題からはじめるのは良い事だと思います。

さてお時間となりましたので、本日はこの辺でお開きにいたします。皆さん長時間ありがとうございました。



平成三十年 新年名刺交換会を開催 市内の各界代表者約600人が出席



乾杯の発声を行う秋山会頭

国歌斉唱に続き主催者を代表して小川春樹市長が「2018年の新年を皆様とともに元気に迎えられることを心からお慶び申し上げます。昨年を振り返りますと、天皇陛下の退位が来

1月5日、ホテル天地閣で恒例の新年名刺交換会を開催しました。この名刺交換会は毎年、当所と日立市が主催し市内の各界代表が一堂に会して新年の挨拶を交わすもので、今年約600人が出席しました。この日は、日立市の梶山隆範副市長の開会のことは、



主催者を代表して挨拶する小川市長

興の総仕上げ、安全・安心のまちづくり、地方創生の3つを柱として、それぞれの施策を推進いたしました。

具体的には、震災復興の総仕上げであり、安全・安心のまちづくり推進につながる、池の川さくらアリーナと市役所新庁舎の供用開始や、原子力災害に備え、福島県内の17市町村と広域避難の受入れに関する協定を締結したほか、日立総合病院では、婦人科診療がおよそ8年ぶりに再開されました。

また、地方創生の取組としては、10月から子どもの医療費を無料とする制度を拡大したほか、市自らが職業紹介を行う県内初の地方版ハローワーク「雇用センタ―多賀」を開設し、雇用の充実を図りました。

本年も、後期基本計画2年目として、人口減少をはじめとする本市の様々な課題の克服に向け、安全・安心のまちづくりや、地方創生への取組をより一層推進するとともに、地域活性化を促し、新たな雇用や産業を呼び込むための重要なインフラ整備を、将来へのつなぎとして引き続きしっかりと取り組んでまいりたいと考えております。

日立市は、豊かな自然に恵まれ、市民、行政、企業が一丸となつて、独自の文化を育んできたまちです。「も



特等当選の飯村さんによる万歳三唱

なるよう、御健勝と御活躍を心から御祈念申しあげます。」と挨拶しました。次に国会議員の石川昭政氏、浅野哲氏、岡田広氏、上月良祐氏による年頭の挨拶があり、当所秋山光伯会頭による乾杯のあと祝宴に移りました。超満員の会場内では随所で新年の挨拶を交わす姿が見られました。続いて行なわれた「初笑い抽選会」では、さくらメイツの鈴木一葉さんが2等、1等、特等と抽選を行い、特等の日立製口ポットクリナーは飯村機電工業株式会社飯村勝也さんが当選し飯村さんによる万歳三唱で閉会となりました。

12月の常議員会

12月22日、当所で常議員会を開催しました。協議事項では11月の新入会員(別記)を承認。続いて、観光委員会副委員長委嘱について協議し承認されました。この委嘱は前任者の辞職に伴い、横須賀達哉氏(株式会社 テラスザスクエア日立 総支配人)へ委嘱を行うものです。



報告事項では、峯島交通運輸業部会長から「先端物流施設視察研修会」、白土会員サ―ビス委員長から「会員親睦バスツアー」、小沼文化産業部会

長から、9月に開催した救命講習会参加者が人命救助を行った事について、それぞれ報告がありました。終了後は今年一年を振り返っての感想や新年に向けた抱負を、参加者の皆様からいただき、新しい年への期待を抱いて年内最後の常議員会が終了しました。

商工会議所の動き 12月

- 12月3日 第43回カラーコーディネーター検定試験
- 12月4日 日本銀行水戸事務所長との意見交換会
- 12月5日 観光委員会
- 12月6日 経営革新セミナー個別相談会(外1回)
- 12月7日 監事会 正副会頭会議
- 12月10日 第42回ビジネス実務法務検定試験
- 12月16日 ひたちあきんど探検少年団活動
- 12月19日 日立創業支援ネットワーク会議
- 12月22日 常議員会



特別会員紹介
(講師派遣業)
榎日経コンサルタント

東京都中央区

築地2-15-20

新入会員紹介

ROM(美容業)

西成沢町2-1-21-1F

五来クリーニング店

(クリーニング業)

久慈町3-18-15

会議所インフォメーション

TEL 22-0128 FAX 22-0120

かいぎしよNEWS チラシ折込サービスのご案内

当所では会員事業所の販路拡大を目的に、毎月発行する会報と一緒に商品やイベントのチラシ等を同封するサービスを始めました。

「お店のPR」「新製品・新商品のご紹介」「展示会・イベントの告知」等の広報に利用してみませんか?



申込み

利用希望月の前月20日までに、原稿を添えてお申込みください。
折込むチラシは発刊月の10日までに当所に納入願います。

発行

毎月20日・約3,300部

使用料金

チラシ

B5・A4判	1枚折込につき 32,400円
B4・A3判(2つ折り)	1枚折込につき 48,600円

パンフレット(1部50gまで)

A4判まで	1部折込につき 108,000円
-------	------------------

お申込みの際に別途運用規程に同意していただく必要があります。

●詳しくは総務課又は当所ホームページ『新着情報』をご覧ください。

事業主の皆様へ

平成29年度厚生労働省委託事業「中小企業のための育児・介護支援プラン導入支援事業」のお知らせ

【内容等】

従業員の育児休業取得について、育休復帰のノウハウを備えた「育児プランナー」が育休取得・復帰環境整備を無料で支援します。

※育児プランナーとは…中小企業における育休復帰・経営支援のノウハウを有する社会保険労務士・中小企業診断士等の専門家です。

お申込み方法及び詳細については、下記URLをご確認ください。

<http://ikuji-kaigo.com/lp/ikuji/>

◆◆◆ お問合せ先 ◆◆◆

(株)パソナ 育児・介護支援プロジェクト事務局
(担当: 宍戸・中村) TEL 03-5542-1740

茨城労働局からのお知らせ



「働き方改革 いばらき」

働き方・休み方を変える第一歩として「プラスワン休暇」を実施しませんか？

◆◆◆ お問合せ先 ◆◆◆

雇用環境・均等室 ☎029-277-8294

無期転換ルールの相談については、労働局へ！

「無期転換ルール」とは、有期労働契約が更新されて、平成25年4月1日以降に開始した有期契約労働期間が、通算5年を超えたときは、労働者の申込みにより、期間の定めのない労働契約(無期労働契約)に転換できるルールです。

(参考)有期契約労働者の無期転換ポータルサイト
<http://www.muki.mhlw.go.jp>

◆◆◆ お問合せ先 ◆◆◆

雇用環境・均等室 TEL 029-277-8295

日立市女性就業環境整備促進事業(二次募集)のご案内

市内の中小企業者における女性の就業率向上や、出産・育児後の社会復帰の促進のため女性が働きやすい職場環境の整備を実施する中小企業者に対して、経費の一部を補助します。

- 対象 象：市内事業所における女性の就業率が、県平均の43.0%未満であることなどの条件を満たす中小企業者
- 受付期間：平成30年2月16日(金)まで
- 要件：平成29年4月1日以降に契約し、平成30年3月31日までに整備等の完了及び代金の支払が完了すること。

【補助率及び限度額】

区分	取組内容(例)	補助率・限度額
《A枠》 設備面の取組	トイレなどの女性専用設備、託児施設や休憩室の設置・整備、運搬等作業用の機械等の導入など	補助率：2分の1以内 補助限度額：75万円/社
《B枠》 制度面の取組	短時間勤務・休暇などの人事制度の導入、職業訓練や各種研修への女性社員の参加支援など	補助率：2分の1以内 補助限度額：30万円/社

※申請書等詳細は、日立市ホームページ (<http://www.city.hitachi.lg.jp/jigyoyo/004/002/p047050js2.html>) をご覧ください。

お問合せ先: 日立市 産業経済部 商工振興課 電話 0294-22-3111 内線471